



## 令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和元年8月9日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中川 正一 TEL 052-683-3001  
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年3月期第1四半期の業績（平成31年4月1日～令和元年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	9,746	0.2	57	269.6	109	75.3	79	75.6
31年3月期第1四半期	9,723	△2.8	15	7.6	62	△0.7	45	5.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	44.97	—
31年3月期第1四半期	25.33	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第1四半期	15,283	12,607	82.5
31年3月期	15,450	12,811	82.9

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 12,607百万円 31年3月期 12,811百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2年3月期	—	—	—	—	—
2年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和2年3月期の業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	19,500	0.1	40	1.9	109	0.3	76	0.3	43.32
通期	41,000	0.1	149	0.3	275	0.1	185	604.3	105.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期1Q	1,926,900株	31年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2年3月期1Q	165,551株	31年3月期	165,441株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期1Q	1,761,377株	31年3月期1Q	1,780,824株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用、所得環境の改善が進んでおりますが、米中貿易摩擦の影響による世界経済の減速や10%への消費増税を控えるなど、依然として消費者の節約志向は根強く、先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、水産資源の減少や気候の変動による漁獲量の減少、日本食ブームなどで海外における水産物需要の増加による仕入価格の上昇など、厳しい経営環境となりました。

このような外部環境のもとで、当社は、販売競争に対応した調達力、営業力の強化を図るとともに、業務の効率化や諸経費の削減を推し進めるなど、業績の向上と企業体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、飼料工場が養鰻飼料の輸出が減少し減収となりましたが、卸売部門での取扱数量の減少を販売単価の上昇で補うことができ、全体で9,746百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。利益については、利益率の改善による売上総利益の増加、一般管理費の減少などにより79百万円の四半期純利益(前年同四半期比75.6%増)となりました。

売上面に関しては、今後も自然の影響を受けやすい天然魚の漁獲量の減少に対して、出荷者との繋がりを深め、養殖魚や他魚種及び他海域からの集荷で対処するなど、安定供給を図ります。利益面では、個々の取引条件の見直しや工場原価及び一般管理費の削減に努め、利益率の改善を図ります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (卸売部門)

鮮魚は、養殖カンパチ、養殖マダイが餌の高騰による価格高で販売数量の減少、ホタテ貝柱が不漁で減収となりましたが、養殖ブリの加工品の需要増による取扱増、養殖ウナギが順調な入荷による売上増、量販店向け加工用養殖本マグロ、キハダ製品の売上増があり増収となりました。

冷凍魚は、カニが価格高騰による売上減、ボイルホタテが漁獲減少による取扱減となりましたが、加工原料のイカや鯛フレーク、ウナギは順調な販売、エビは価格高で増収となりました。

加工食品は、納豆製品、ブランド色のある餃子の販売が好調で、量販店向け銀サケが取扱量の増加により売上増となりましたが、チリメンが入荷量の増加により単価安、小女子の入荷減少もあり、減収となりました。

この結果、売上高は9,408百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益96百万円(同12.7%増)となりました。

## (飼料工場部門)

養鰻用飼料が、シラスウナギの減少により、韓国向け輸出用飼料の販売が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は180百万円(前年同四半期比39.8%減)、営業利益は8百万円(同0.7%減)となりました。

## (冷蔵工場部門)

給食関係の冷凍食品が順調な在庫で取扱増となりましたが、倉庫の満庫状態が続く、貨物の荷動きが悪く、減収となりました。

この結果、売上高は120百万円(前年同四半期比9.9%減)、営業利益は17百万円(同188.0%増)となりました。

## (不動産賃貸部門)

家賃収入などが堅調に推移した結果、売上高は36百万円(前年同四半期比8.2%増)、営業利益は21百万円(同0.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、15,283百万円となり、前事業年度末に比べ167百万円(1.1%)減少しました。これは主に、有価証券の増加601百万円、土地の増加168百万円、商品及び製品の増加145百万円などがありましたが、投資有価証券の減少905百万円、現金及び預金の減少168百万円などによるものであります。

負債は、2,675百万円となり、前事業年度末に比べ36百万円(1.4%)増加しました。これは主に、繰延税金負債の減少94百万円、賞与引当金の減少37百万円などがありましたが、買掛金の増加156百万円などによるものであります。

純資産は、12,607百万円となり、前事業年度末に比べ203百万円(1.6%)減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少212百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、令和元年5月13日発表の業績予想は変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,993,632	1,825,508
受取手形及び売掛金	2,073,751	2,098,354
有価証券	2,200,498	2,801,750
商品及び製品	1,560,672	1,705,746
仕掛品	49,982	40,780
原材料及び貯蔵品	394,016	367,159
その他	47,968	37,907
貸倒引当金	△13,336	△13,516
流動資産合計	8,307,186	8,863,691
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	763,617	798,778
その他(純額)	798,562	947,641
有形固定資産合計	1,562,179	1,746,419
無形固定資産	14,379	13,418
投資その他の資産		
投資有価証券	5,460,194	4,554,460
その他	119,839	117,756
貸倒引当金	△13,568	△12,743
投資その他の資産合計	5,566,465	4,659,473
固定資産合計	7,143,025	6,419,310
資産合計	15,450,211	15,283,002
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,430,074	1,586,858
受託販売未払金	150,602	141,614
未払法人税等	44,972	34,949
賞与引当金	47,940	10,153
資産除去債務	5,324	5,324
その他	249,235	257,845
流動負債合計	1,928,150	2,036,744
固定負債		
退職給付引当金	377,597	377,822
その他	333,311	261,053
固定負債合計	710,908	638,876
負債合計	2,639,058	2,675,621

(単位:千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和元年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,025,189	10,033,935
自己株式	△641,390	△641,665
株主資本合計	11,879,571	11,888,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	931,581	719,339
評価・換算差額等合計	931,581	719,339
純資産合計	12,811,153	12,607,380
負債純資産合計	15,450,211	15,283,002

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	9,723,629	9,746,740
売上原価	9,298,687	9,302,535
売上総利益	424,941	444,204
販売費及び一般管理費	409,473	387,042
営業利益	15,467	57,161
営業外収益		
受取利息	3,146	5,340
受取配当金	32,813	34,917
その他	11,246	12,368
営業外収益合計	47,205	52,626
営業外費用		
雑損失	80	87
営業外費用合計	80	87
経常利益	62,592	109,700
税引前四半期純利益	62,592	109,700
法人税、住民税及び事業税	25,288	35,107
法人税等調整額	△7,805	△4,610
法人税等合計	17,482	30,496
四半期純利益	45,109	79,203

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高							
外部顧客への 売上高	9,256,094	299,902	133,573	34,059	9,723,629	—	9,723,629
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	35,640	38,059	28,095	—	101,795	△101,795	—
計	9,291,734	337,961	161,669	34,059	9,825,424	△101,795	9,723,629
セグメント利益	85,538	8,636	6,167	21,646	121,989	△106,521	15,467

(注) 1 セグメント利益の調整額△106,521千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成31年4月1日至令和元年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高							
外部顧客への 売上高	9,408,974	180,549	120,363	36,852	9,746,740	—	9,746,740
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,819	—	29,911	—	31,731	△31,731	—
計	9,410,793	180,549	150,275	36,852	9,778,471	△31,731	9,746,740
セグメント利益	96,363	8,575	17,763	21,819	144,522	△87,361	57,161

(注) 1 セグメント利益の調整額△87,361千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。